広報なは
那覇
市民の友

5
2025 May.
No.892

未来を拓く、なは☆ひとづくり、
まちづくり、ゆめづくり

みなとのはなし
舟楫をもって万国の津梁となす

那覇市長　知念 覚

なは港を知ろう!

那覇港は沖縄県の物流･人流の拠点港湾として、私たちの暮らし、産業、観光を支える重要な「海の玄関口」です。県内の貨物の大部分(約7割)を取り扱い、本土、海外、県内離島を結ぶ多数の航路を有しています。

クルーズ船の寄港数も国内トップクラスであり、コロナ禍前の2019年には年間260回の寄港を記録し、全国1位となりました。さらに、2023年に供用開始された第2クルーズバースは、世界最大級のクルーズ船も寄港可能となっており、沖縄観光に大きく貢献しています。また、那覇港は琉球王国時代から続く歴史ある港でもあります。

今月号では、那覇のまちの魅力のひとつである那覇港を「みなとのはなし」として特集し、港の機能や魅力、地域とのつながりを交えながらご紹介します。

那覇港は、まちの発展とともにその重要性を高め、今後も世界と沖縄･日本全国の人･物･文化を繋ぐ「みなと」として発展していきます。この機会に、歴史ある那覇港の魅力を感じるとともに、その果たす役割についてご関心を深めていただければ幸いです。

市公式
インスタグラム
フォローしてね♪
#なはとびで検索

市公式
LINE
友達登録は
こちらから→

Catalog
Pocket
You can read this city
newsletter in 10 languages.

FOREIGN
RESIDENTS
PORTAL

那覇市の人口と世帯 2025年3月末現在　総人口 312,021人 (7,846人)　男 150,860人 (3,984人)　女 161,161人 (3,862)　世帯数 161,017世帯 (5,686世帯)　※( ) 内はうち外国人
発行：那覇市 〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号 ☎ (代表) 867-0111　印刷：株式会社近代美術　配布：那覇市シルバー人材センター

〖特集〗みなとのはなし

古くから東アジアや東南アジアの国々との貿易により栄えてきた琉球。「舟楫(しゅうしゅう)をもって万国の津梁となす」の銘文は、舟を通わせて世界中の架け橋とするという意味で、人々の勇ましく積極的な様子と海洋国家としての気概が表現され、みなとには船や物や人が行き交いました。

現在、なはのみなとは多くの機能を持ち、国内外のみならず宮古、八重山、周辺離島とを結ぶ社会経済活動や私たちの生活を支える基盤である一方で、その地理的優位性により多くの可能性を秘めています。周辺には、約20億人の巨大マーケットが広がっており、沖縄の経済・産業をダイナミックに発展させることが可能な環境が整いつつあります。集貨や創貨といった取扱貨物の増大に向け、アジアの中継拠点港を目指し取組を進める、みなとの様子をお届けします。

取材/秘書広報課 ☎862-9942

沖縄は、物流の約99%を海上輸送に依存しており、日々多くの船が行き交うみなとは、文字通り私たちの生活を支える生命線です。臨海部には、到着した貨物を保管する倉庫、それを県内各地に届ける運送、また到着した原料を加工し県外へと移出する工場などの施設といった物流機能のほかに、税関や出入国管理、検疫機能があり、海の'警察'であり'消防'である海上保安庁などが安全を確保しています。那覇港エリアは、那覇ふ頭地区、泊ふ頭地区、新港ふ頭地区、浦添ふ頭地区の4つで構成されており、漁港や旅客ターミナル、ビーチ、公園、緑地、卸売市場などが存在しています。

①第2クルーズバース
2023年供用開始。23万トン級のクルーズ船の寄港も可能で、今後ターミナルビルが整備される予定です。

⑯那覇エコアイランド
一般廃棄物海面最終処理場。ごみ処理施設。

⑧えんがん漁協
普段はセリが行われている市場ですが、えんがん朝市では、セリや魚捌き、釣り体験などができることも！

⑮国際コンテナターミナル
国内外の貨物船が寄港し国際的な貨物を取り扱い「保税地域」となる特別な場所です。ガントリークレーンによりコンテナ貨物の積み下ろしを行っています。

⑫なはまぐろ市場
2023年11月にオープンした施設で、マグロを中心にした7店舗の鮮魚店が並んでいます。

⑪泊いゆまち
色とりどりの鮮魚や海鮮などが並ぶ鮮魚市場。23店舗。

⑩泊漁港
沖縄県内87漁港の中でも水揚げ量が最も多い漁港で、特にマグロに関しては県内の約半数がここで水揚げされています。

③総合物流センター
2019年5月開業の総合物流施設。国内外の貨物を取り扱っており、小分け・検品・仕分け・梱包といった流通加工や、保管、検査などを行っています。

⑨波の上うみそら公園
95種類のサンゴや多様な生物が生息し、シュノーケリングやダイビング、バナナボートやSUP、BBQができます。用具の貸し出しも行っています。

⑥三重城小船溜
多くの船が停泊し、パラセーリングやシュノーケリング・ダイビングのほか冬場にはホエールウォッチングの船も出港します。

②那覇クルーズターミナル
四方を海に囲まれた桟橋構造の海上建築。

⑤三重城ふるさと海岸
ロワジールホテル那覇の横から入ることができます。遊歩道もあり、波の上うみそら公園、波の上ビーチへと散策できます。

⑬若狭海浜公園
5月～10月、月末の金曜日に映画を上映する"うみそら上映会"を開催しています。

⑭波の上ビーチ
若狭側ビーチ、辻側ビーチがあります！

⑦とまりん/泊港
周辺離島航路の拠点で、旅客ターミナルと8つの周辺離島と本島を結ぶ定期フェリーや高速船、観光遊覧船が走っています。

⑱三重城(みえぐすく)跡地
琉球王国時代は海の玄関口の守衛的な役割を担っていました。

④那覇ふ頭船客待合所
鹿児島航路のフェリーが出ています。

⑰御物城(おものぐすくあと)跡
琉球王国時代は湾に浮かぶ小島で、公倉として交易で得た物が保管されていました。

行き交う船たち

離島定期船
粟国島、久米島・渡名喜島、座間味・阿嘉島、渡嘉敷島、北大東・南大東島ルートを走る定期船が、泊港から出ています。

巡視船艇
海上の安全を確保し、命を救い、災害に備える活動を日夜行う那覇海上保安部の巡視船艇。なかにはヘリコプターを搭載するものも！

RORO(ロー ロー)船
貨物を積んだトラックやトレーラーがそのまま出入りできるロールオン・ロールオフ型貨物船。積み下ろしが早い！

コンテナ船
コンテナ貨物を積む専用の船。サイズが世界共通で規格化されたコンテナを用いることで、効率的な大量貨物輸送が可能になっています。

みなとの機能

令和5年の県内港湾の公共貨物量のうち、那覇港が占めるのは内国貿易において約7割、外国貿易において約8割です。

物流の課題として、船舶の大型化や取扱い貨物量の増加に伴い、岸壁延長の不足、ふ頭狭隘(きょうあい)化が生じています。また、沖縄からの外国への輸出、国内への移出が少なく、片荷輸送となっているため輸送コストが高くなっていることがあります。混載輸出も可能であることから輸出貨物の掘り起こしや、さらなる航路開拓や延伸が望まれます。

物流センターの中には、ドライ倉庫、冷凍冷蔵倉庫、急速凍結庫、超低温庫、恒温恒湿庫が備えられ、海外や県外からの様々な物資に対応、安定供給や長期保存が可能です。

コロナ禍により減少したクルーズ船の寄港も回復してきており、2024年は175回の寄港がありました。また、那覇港のサンゴ礁などがCO_2を吸収するため、地球温暖化対策になりうる可能性があり、注目されています。

こんな現場にも!

安全のために
合同訓練・総合訓練を行うほか
- 旅客船での火災を想定した救難訓練
- 大規模災害発生時の訓練
- ドクターヘリの着陸
- 水中での不発弾処理

も行われています

うみべで楽しむ

散歩

三重城ふるさと海岸や若狭地域では海岸沿いに遊歩道も整備されており、船の往来や夕日が沈むさまを楽しむのもおすすめです。

⑤三重城ふるさと海岸

クルーズ船

各種イベント

⑪泊いゆまち にて「おさかなフェア」

まぐろ解体ショー、模擬セリ、仲買人による早捌き競争、利きイマイユ選手権など

6月

海上にて「サバニ帆走レース」

6月

古座間味ビーチから那覇港防波堤沖までの海路(約19海里／約35.2km)をセーリング&パドリングでゴールを目指すレース。

⑨波の上うみそら公園緑地 にて「なは青年祭」

8月

青年団体を中心にエイサーや獅子舞、旗頭といった演舞を披露する祭り。参加型イベントや屋台、フリーマーケット、打ち上げ花火も。

⑬若狭海浜公園 にて「若狭地域文化祭」

11月

地域による手作りのお祭り。子どもたちや若狭小学校の教員、サークル団体らが多彩なステージを披露。飲食出店や的当てゲームなども。

ご意見募集中!

那覇港管理組合では、現在「那覇港みなとまちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定案について、みなさまから幅広い意見を募集しています。

問 那覇港管理組合　計画建設課　☎868-0336

コチラから

進貢船(しんこうせん)

進貢貿易（14世紀～19世紀中期）で使われた琉球王国の官船。秋の新北風(みーにし)を受けて出発し、翌年の初夏、海から吹き付ける季節風を帆にとらえて帰りました。

表紙

表紙・画像/おきなわワールド提供

馬艦船(まーらんせん)

戦前に中南部と北部を往来した交易船。山原船(やんばるせん)とも。北部からは木材や黒糖を、那覇からは生活物資や酒類を運んでいました。画像は2014年に復元された様子。

表紙

表紙・画像/うるま市海の文化資料館所蔵

漁船

漁師の仕事がわかる!

市で主に行われているのはマグロ延縄漁、ソデイカの旗流し漁、マグロ集魚灯漁、1本釣り漁業、潜水器漁業です。

クルーズ客船

プールや劇場など様々な設備を備え、観光を目的に船自体を楽しむ客船。船体の大きさや乗船人数によりカジュアル・プレミアム・ラグジュアリーとランクがあり、世界各地で発着するクルーズ船が寄港しています。

表紙